

第 1 回「知的障がい者等に対する金融教育支援員セミナー」開催

平成 27 年 1 月 11 日（日）、東京・文京区の「文京シビックセンター」において、ゆうちょ財団主催の「知的障がい者等に対する金融教育支援員セミナー」が開催されました。

このセミナーは、ゆうちょ財団主催の「知的障がい者等に対する金融教育支援員養成講座」を受講・修了し、金融教育支援員登録した人を対象に、知的障がい者等に対する金銭管理講座や金融被害防止の啓発活動を実施する際に必要となる知識・技能等を学ぶことを目的として開催されるものです。

今回のセミナーの講師は、ぜんち共済株式会社の富岡竜一氏が務めました。

「障がいのある人のライフプラン設計の考え方」をテーマに行われた今回の講座は、「障がいのある人のライフステージについて」「ライフプランを設計するためのステップ」「様々な制度、私的な備えの個別概要」「収入／支出のシミュレーションをしてみましょう」を主な内容としています。

障がいのある人のライフステージでは、年齢の変化と生活基盤の変化の関係について説明がありました。幼児期、就学期、青年期、壮年期、老年期それぞれの年齢ごとにどのような生活状況の変化があるのか、その際に注意することは何か等、具体的に解説が行われました。

また、障がいのある人のライフプランを考える際には保護者の年齢を関連付けて考えることの重要性が強調されました。印象深かったのは、障がいのある人のライフプランを考える際には、よく言われる「親亡き後」ではなく、「親無き後」つまり親が面倒を見なくなる時期（親が支援できなくなる時期）のことを考えることがポイントであるという点です。

その他、公的支援においては、障がい程度、世帯収入等に応じた割引・減免制度の利用が住所地の自治体により内容が変わる点など、ライフプラン設計にあたっての重要事項の説明が行われました。

講義後の質疑応答では、「障害年金の請求時のポイントや年金受給後の障がい程度の変化への対応について」「障がい者専門の保険の内容について」等々多くの質問が出されたほか、受講者同士でも活発な意見交換の場も見られました。



今回のセミナーは金融教育支援員向けのスキルアップセミナーとして 1 回目の開催でした。次回は名古屋市での開催（平成 27 年 2 月 21 日）を予定しており、今後各地で開催を行う予定です。

開催のお知らせは都度、サイト等を通じて行います。多くの皆さまの参加をお待ちしています。